

RX2 Versatile Mixer



DHDのミキサーの中でも最も人気の高かったSerie 52/RXが新たな機能を追加して生まれ変わりました。要望の多かったチャンネルごとのディスプレイとモーターフェーダーが標準採用となったため、カスタマイズの幅はこれまで以上に広がり、テレビ、ラジオ、中継車、あらゆるスタジオシステムにフィットする仕様に合わせたミキサーを作り上げられます。

更にモジュールがデスクトップモデルに変わったため、既存のテーブルにそのまま乗せる事が可能になっています。6Faderのフェーダーモジュールとセントラルモジュールは独立しているため、一体型のレイアウトではなく、分割レイアウトも可能になり、更に自由度が高まりました。

52-5820 フェーダーモジュール(6フェーダー) 52-5810 セントラルモジュール

10インチタッチディスプレイ

- ・各フェーダーチャンネルのレベル表示
- ・バスアサインスイッチ
- ・GAINコントロール etc

エンコーダー

- ・EQ、COMP、AUX送りレベルなどのコントロール etc

Fader

- ・100mm モーターフェーダー

フレキシブルスイッチ

- ・Channel Onボタン
- ・PFL
- ・TB etc

10インチタッチディスプレイ

- ・トータルレベルの監視
- ・マトリクスルーター
- ・タイマー etc

エンコーダー

- ・EQ、COMP、AUX送りレベルなどのコントロール
- ・ヘッドフォンモニターセクター etc

内蔵スピーカー

- ・バックトーク
- ・PFL etc

ボリュームコンローラー

- ・SP レベル調整

7インチタッチディスプレイ

- ・モニターセクター
- ・トークバック
- ・レイヤー切り替え etc

98mm

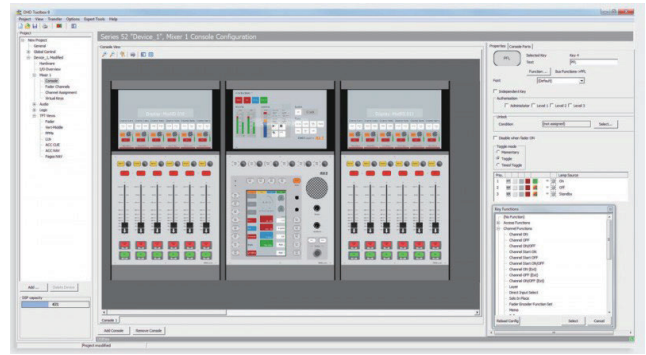
259mm

472mm

■ セントラルモジュール



■ ToolBox9 ミキサーコンフィグレーション画面



セントラルモジュールは監視、設定用の10インチタッチディスプレイのほか、新たに7インチのタッチディスプレイを操作面に搭載しており、モニター、コントロール関係をグラフィカルでわかりやすい表示ができるようになりました。高輝度なIPS TFTに変わり、輝度をセンサーで自動調整する事ができるため省エネにも役立ちます。スイッチはハードスイッチからラバースイッチに変わり耐久性が増し、更にフルカラー点灯が出来るようになりました。従来の3色点灯からお好みのカラーでミキサーを彩ることが可能です。

これらの画面デザイン、スイッチ関係の機能はこれまで同様自由にカスタマイズができるので、これまでより更に使いやすいミキサーを作ることができます。

DSP CoreとI/O Boxは従来のミキサーでも使用していたXC2シリーズを採用。

XC2シリーズは全国の放送局で多数稼働しており、高い信頼性を誇ります。

■ ミキサーレイアウト例 24Fader+セントラルモジュール



セントラルモジュール 背面図

- Mic in /1ch
- Headphone Out /1ch
- Line out /1ch(ステレオ換算)
- GPIO 2in/2out
- APCポート x2 (DHD専用プロトコル)

2023年4月版